

やじうま議会ウォッチング

平成31年6月議会「議会存在感発揮！補正予算否決。」



今議会は、陳情5件、議員提出議案1件、町長提出議案10件審議。9名の一般質問。**想定概算費用を20億に減少させた二宮町役場新庁舎建設が大きな争点**となり、再検討を求める陳情も2件、一般質問でも関連事項が質問されました。

新庁舎建設は、3月議会でも争点となりました。埋蔵文化財発掘調査委託料の平成31年度分3,520万円を残し、基本設計委託料5,051万5千円を除く修正動議が反映された当初予算案が7対6で可決されています。

前代未聞！予算案否決で議会存在感発揮

その3か月後に約6億4千万円減少させた見直し案で再度基本設計委託料が盛り込まれた補正予算を町が議会に提出しました。この補正予算は6対7で否決されました。反対(羽根、松崎、坂本、露木、大沼、前田、一石(議席番号順、敬称省略))

予算案が否決されたことは、この20年 なかったことです。議会の使命である「行財政運営の批判と監視」が実践され、議会の存在感を発揮したと言えるでしょう。

今議会で感じた疑問点

議会の存在感を発揮したとは言え、疑問に感じたこともありました。

1 当初予算で否定された基本設計委託料が3か月後に再提案

このことは地方自治法第210条の総計予算主義に抵触する恐れがあり、議会軽視です。

また、3月議会でも新庁舎建設基本設計委託料に反対した議員が、約6億4千万円減少させた見直し案の基本設計委託料が盛り込まれた補正予算に賛成しているのも理由がわかりません。

2 つじつま合わない議員陳情可否

新庁舎建設についての2件の陳情は趣旨は同じと思いましたが、一時ストップを明言し、より

厳しい内容の陳情に賛成し、他方に反対した議員もいました。文言の解釈を違えたり、議会の存在意義を議員自らが否定するような反対理由に驚きました。行政職員も不思議に思っていました。

3 住民力が議会存在感を後押し

補正予算に過半数の議員が反対し、否決されるかは議会最終日の採決までわかりませんでした。千5百名近くの反対署名、再度の2件陳情、多数の傍聴者などがあって議員が反対する後押しをしたと思います。こんなに住民が力を注がなくても日頃から審議が深まることを望みます。

議会は行政の監視機関！追認機関に甘んじるなら要らない。

議会の使命は、「行財政運営の批判と監視」です。町行政に賛成ばかりして**追認機関のように住民から見えてはいけません**。議員がそれに甘んじるならば、議会は必要ありません。

12議会に再度補正予算が提案されるようです。議会の真価が今後ますます問われます。

こんな公職者にイエローカードを。

町長は町政運営の公正さ、適正さを疑われない自省を。



行政は住民の信託に基づき、住民の税負担を基礎として成り立っているため、運営は過程も実施も「公正さ」と「適正さ」が求められます。「公正さ」は、特定の住民、団体、企業などの利益を追及するのではなく、住民全体の利益を追及し、法に基づいて住民に平等に分配されなければなりません。「適正さ」は、行政活動が、法の根拠によって行われなければなりません。

二宮町の行政のトップである町長は、このことを常に心に留めて自分の言動、行政活動を律しなければなりません。しかし、このことに疑問を生じる事例が見受けられます。

まず、当初予算で否定された新庁舎建設を根本的に見直すことなく基本設計委託料を同年度に再三予算化。地方自治法第210条の総計予算主義に抵触する恐れがあります。

また、町長自身が会員の団体に補助金など町の公金が支払われたこと。やはり、公正さが疑われないように退会が必要だったのではないのでしょうか。さらに、町有地で法の根拠なく使用料が徴収されようとしたら。公正、中立が求められる行政委員に、委員報酬以外の町の経費が人件費として支払われようとしたら問題でしょう。

	議員名(敬称省略)	質問概要	傍聴コメント
一般質問 6月12日(水)	前田 憲一郎 (2期) 監査委員	二宮町公共施設再配置・町有地有効活用について 1 3町有地の有効活用(東京大学果樹園跡地、国立小児病院跡地、正泉寺跡地)の有効活用はどのような計画を検討し、町民の利益となる活用していくのか。2 老朽化が危惧される地域集会施設の改修計画の検討は？ 3 設定耐用年数がせまってきている学校施設の対応 4 廃止条例が否決された袖が浦プールの今後	地域との対話や専門調査未実施を理由に町有地有効活用、地域集会施設・学校施設改修計画、袖が浜プールも不明のまま。施設一体型小中一貫校の概算建設費も明示提案したが、町の検討には至らず。タイムスケジュールを迫り町の逃げ口上を阻止する質問を。
	渡辺 訓任 (2期) 教育福祉常任委員会委員長	災害発生時の対応と町民の安全確保について 1 地区の防災計画の進捗状況 2 町・地区の防災訓練は、策定された防災計画に沿ったものか 3 一時避難所、広域避難所、福祉避難所の役割 4 今地震が発災したら現庁舎の動き、職員や来庁者の安全性の担保 5 防災ラジオの導入を求める 国民健康保険税の引き下げを求める 1 直近の収納率、資格証・短期証の発行など保険税納入状況 2 国保加入世帯の構成や経済状況など町の国保加入世帯の状況 3 独自の税率設定や子ども向けの均等割の減額など町独自の仕組みの考え	災害発生時の対応は多面的に検討されず、検討しない理由も不明。危機管理体制もできていない。議員質問も町答弁も歯切れが悪く、町民の安全確保は机上論だと感じました。グラフで国保税の住民負担の増大を説明、特に子育て世帯への軽減措置を要望したが、国の動きなどを見て町は今後検討のようです。町が先んじた検討はできないのでしょうか。
	二宮 節子 (2期) 総務建設経済常任委員会委員長	消防団の処遇について 1 現在の団員数と将来の人員の見通し 2 年額報酬引き上げの見解 3 準中型免許取得費用補助の考え 死亡届に伴う諸手続きの窓口一元化について 1 死亡届受付事務の現状と課題 2 早急なる一元化対応で町民負担軽減を図る考え	消防団員の若手確保のためにも処遇改善を迫り。年額報酬引き上げは装備品整備を優先させ、今後引き上げは装備品更新も念頭に置いて検討とのこと。窓口一元化は現状スペース的に無理で、案内書、ホームページの内容はわかりやすくするそうです。これで良いのかな？
	小笠原 陶子 (6期) 議会基本条例推進委員会委員長	買い物弱者対策について 1 買い物不便地域の高齢者に大型スーパー前ベンチ設置の方策 2 高齢者や体の弱い方のためのベンチ設置の考えと対策 3 バス路線廃止にならぬよう、住民と一体になった対策の考え 大人の引きこもりとニートの支援について 1 現在の実態把握方法 2 普及啓発などの事業展開。3 町の支援の今後に向けた課題と対策	大型スーパー前にベンチとバスの時刻表の設置、新採用職員のシルバー体験研修等を提案し、町は検討するそうですが、具体化への道筋を明らかにしてほしい。引きこもりとニートの実態把握をせずに民生委員へ啓発パンフレットの配布では実効性を図れない。民生委員制度の見直し等迫りなければ質問の甲斐なし。
一般質問 6月13日(木)	羽根 かほる (1期) 議会だより編集委員会副委員長	人口増加への取り組みと町の魅力づくり、町のビジョンについて 1 人口の社会増を目指すための具体的な施策 2 町の魅力づくりの具体的な施策と町のビジョン	町の戦略、具体策がないと迫りしたが、転入超過策の現状が明らかになっただけ。町のビジョンを町長に示すように迫ったが、町長答弁は総合計画をきちんと実施すること、「君のふるさとなりたい」がビジョンのようで、策は不明で終了。
	露木 佳代 (2期) 教育福祉常任委員会副委員長	庁舎の新築計画について 1 町民の声をどう受け止めているのか。 2 危険回避のための現庁舎対策 3 庁舎を建てるうえで、大切にしたいと考え 4 町長が持っているまちづくりのイメージ(ハードとソフト)また財政的にどう手当 5 今後のスケジュール	冒頭に反対表明が遅かったことを議員謝罪。庁舎新築計画に町民参加、現庁舎の防災対策、まちづくりビジョン、民主的行政運営、財政、前計画との矛盾など様々な角度から質問したが、町の答えは得られなかった。何故か？
	松崎 健 (1期)	二宮町小中一貫教育校設置計画について 1 「社会に開かれた教育課程」の具体的な意味 2 小学校一年生から英語教育の実施に日本人としてのアイデンティティが確立していない子供への配慮は？ 3 一色小学校単級化に対策を講じていなかったのか？ 4 学校施設を減らすと、具体的な弊害は？ 5 住民説明会でバイアスの掛かった立場の出席者(町職員、議員、町から助成を受けている団体役員等)の発言は分るようになる必要は？ 6 2年先送りは、空き校舎の役場庁舎の利用を妨げる意図か。2年の先送り並びに基本設計・実施設計・改修工事に4年を要する妥当性の説明 7 空き校舎の役場庁舎としての利用可否について検討しないのはなぜか。	特徴ある教育、二宮町民を基礎にした英語教育、住民説明会の方法、新庁舎建設計画の問題も絡め、様々な観点から小中一貫校設置計画について質問。町の説明を聞く場で終わってしまい、問題を迫るまでには至りませんでした。町の説明を受け、「わかりました」とするならば、日ごろの議員活動でできるはず。説明を鵜呑みにするのではなく、その説明から問題を明確化するのが議会質問です。
	一石 洋子 (2期) 議会基本条例推進委員会副委員長	新庁舎建設のビジョンを問う 1 新庁舎は専門的な相談機能に効果があるか 2 現保健センターの機能についての課題とラビアン裏に配置されることのメリット 3 町の防災機能はもとより、ラビアンも含めたエリア一帯の環境、二宮町のまちづくりに見込まれる効果 4 新庁舎建設事業はどのような力を持つのか 5 今町民の知恵と力を合わせ、町内でお金が循環し、コミュニティに資するプロジェクトを創出すべきではないか	質問と町長の回答がかみ合わず、堂々巡りで、ビジョンは不明のまま終了。ビジョンとは何かという用語の定義や町長発言の具体的な矛盾点、町が順を追って新庁舎建設計画を進めてきたという点の反証を例示し、問題を町長に気付かせてほしい。
	大沼 英樹 (1期)	緊急災害への考え方と現在の取り組みを問う 1 緊急災害、発災時の対策と町の現状 2 緊急災害時の役場庁舎機能の考え方および耐震脆弱の対応 町民サービスと町職員の現状について 1 職員の質向上の取り組み 2 労務管理および職員の能力判定について町民の声の取り入れ 3 職員の就業環境および安全対策	災害時対策が立ち遅れている現状、町のやる気の無さを叱責し、新庁舎建設目的が災害対策であることとの矛盾を指摘したが、町の災害時対策に真剣さが未だ欠如を感じました。職員研修、人事評価、ハラスメント対策など質問し、最後に町長の責任を迫り。要望で終わらせないで。今後に期待。
終了後、政策担当部長が露木議員の一般質問への答弁の中で誤解を招く表現があったとお詫びしてその部分を議事録から削除する訂正がありました。			
質問しなかった議員 善波 宜雄、杉崎 俊雄、坂本 孝也、根岸ゆき子 (敬称省略・議長を除く・議席番号順)			

9月議会を楽しもう! 議会定例会開催予定 9月6日(金)~30日(会期25日間) 決算が審議されます。ぜひ、傍聴しましょう。

「しお風」議会ウォッチングもブログをご覧ください。http://shiokaze.blog.jp/